

ワシントン発

「辺野古移設が唯一ではない」

鳩山氏、米議員に訴え

【ワシントン】座波幸代
本紙特派員】訪米中の鳩山由紀夫(元首相)は7日、ワシントンで記者会見し、沖縄の基地問題や核ミサイル開発を続ける北朝鮮への対応

について、米連邦議員らと会談した3日間のワシントン訪問を報告した。米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設について、「辺野古が唯一ではない」という考え方を訴え、日本政府の建設工事強行とそれに対立する県内の状況を、議員らに「沖縄に来て実際に見てほしいと伝えた」と説明した。

7日は、2016年大統領選の民主党候補だったバ

ーニー・サンダース上院議員と、下院軍事委員会の委員で、海兵隊基地のあるノースカロライナ州選出のウオルター・ジョーンズ下院議員(共和)と会談した。

鳩山氏は県内の反対にもかかわらず、辺野古への新基地建設工事を強行する日本政府に対し、「自分が総理の時に辺野古に戻してしまったが、政府には一考してもらいたい」と説明した。



民主党のバーニー・サンダース上院議員と会談する鳩山由紀夫
元首相=7日、米ワシントンD.C.(新外交ニシアティブ提供)